



熊谷市議会を探検しよう！

熊谷市議会キッズパンフレット

皆さんは、道路を歩いて、学校に行き、放課後には公園で遊んだり、児童クラブで過ごしたりして、毎日生活をしています。ときには、ゆうゆうバスに乗ることもあるでしょう。

道路、学校、公園、児童クラブなどをつくったり、ゆうゆうバスを走らせたりしているのは、熊谷市です。日々の暮らしに欠かせない大切な仕事をしています。

こうした熊谷市を、もっと住みやすい「まち」にするためには、熊谷市の仕事を市民みんなで話し合い、決めていくことが必要です。

でも、市民全員が一か所に集まって話し合うことは難しいため、**選挙で選ばれた代表者（＝議員）**がみんなの代わりに話し合いをします。

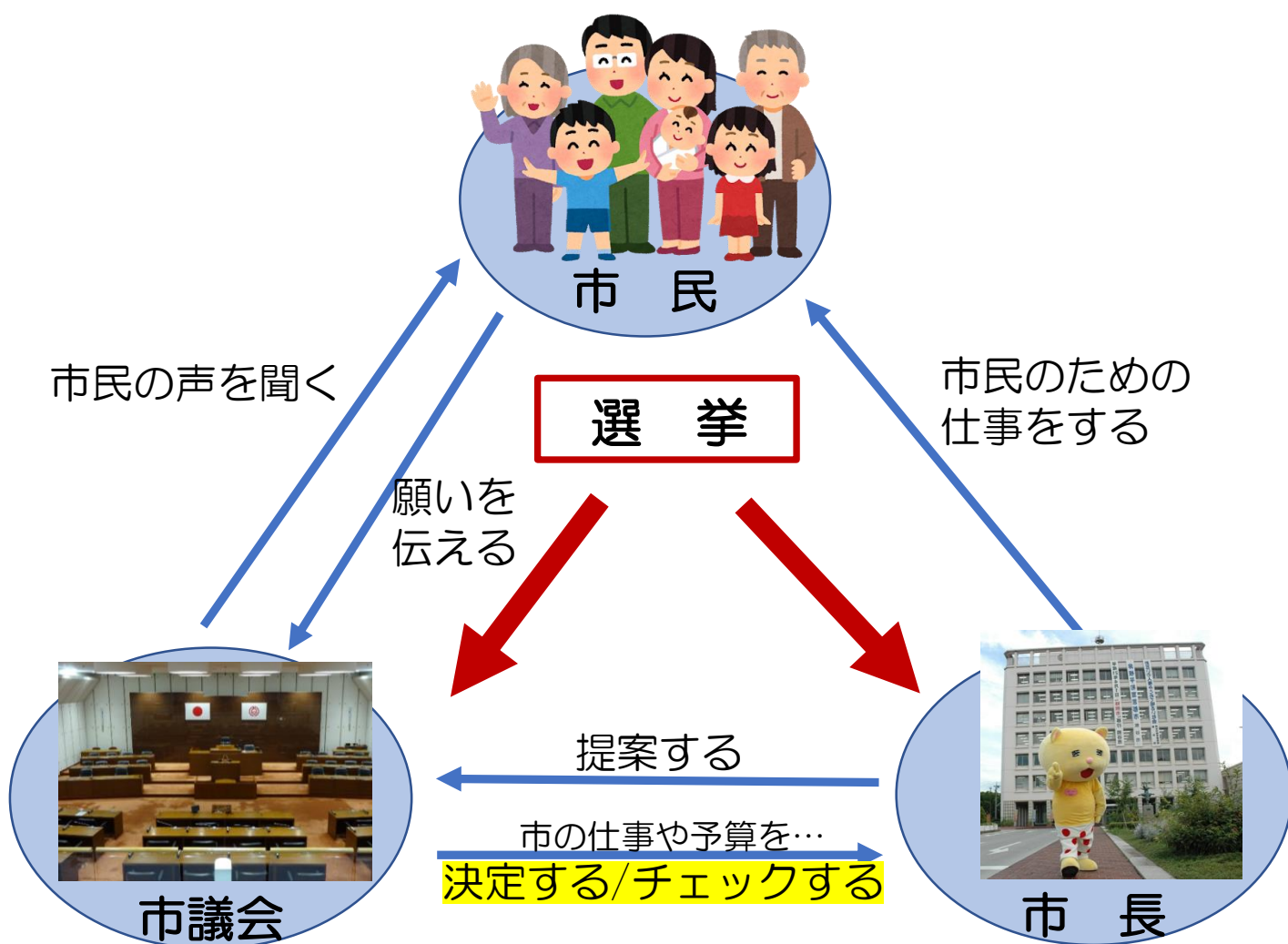
それが、これから探検する**市議会**です。



1 市議会はなんのためにあるの？

わたしたちの熊谷市をもっと快適で住みやすいまちにするには、どうしたらよいかを話し合い、決めるところが市議会（しぎかい）です。

市民みんなで一か所に集まって話し合うことはとても難しいので、選挙（せんきょ）で市民の中から代表者（だいひょうしゃ）を選びます。その代表者が**市議会議員**です。



市議会議員：市民の代表として市民の声や願いを「まちづくり」に反映させたり、議会で決めたことが正しく行われているかチェックします。

市長：議会に市の仕事やお金の使い方を提案し、議会の決定に基づいて、市民のために仕事をします。

市議会と市長は、お互い対等の立場で尊重し合い均衡を保ちながら熊谷市のまちづくりを進めます

2 熊谷市議会クイズにトライ!

(1) 熊谷市議会議員は何人いるの？



(2) 議員を選挙で選ぶことができるのは何歳から？



(3) 議員の選挙に立候補できるのは何歳から？



(4) 選挙で選ばれた市議会議員が仕事を行う期間は何年かな？



(5) 議会には、みんなに身近な施設があります。次のうちどれでしょうか。



①公園

②図書室

③食堂

3 熊谷市議会クイズにトライ！【解説編】

(1) 熊谷市議会議員は何人いるの？

➡ 30人

ポイント❗：令和5年5月1日現在、熊谷市議会は、男性25人、女性5人の議員が活躍しています。

(2) 議員を選挙で選ぶことができるのは何歳から？

➡ 18歳以上

ポイント❗：熊谷市議会議員を選挙で選ぶことができるのは、18歳以上の熊谷市民です。皆も18歳になったら投票に行ってみよう！

(3) 議員の選挙に立候補できるのは何歳から？

➡ 25歳以上

ポイント❗：熊谷市議会議員に立候補できるのは、25歳以上の熊谷市民です。

(4) 選挙で選ばれた市議会議員が仕事を行う期間は何年かな？

➡ 4年間

ポイント❗：法律により市議会議員の任期は4年間です。ちなみに市長の任期も4年間です。

(5) 議会には、みんなに身近な施設があります。次のうちどれでしょうか。

➡ ②図書室

ポイント❗：法律により議会には図書室を設置することが義務付けられています。

～ みんなは何個分かったかな？ ～

4 市議会ではどんなことをするのか (議会のしごと【主な権限】)

議決 (ぎけつ)



- 条例 (※1) をつくったり、改めたり、廃止することを決めます。
- 市のお金の使いみち (予算) を決めます

意見書提出 (いけんしょていしゅつ)

- 市に関係のあることからについて、県や国へ意見書を提出して積極的な解決を求めます。

調査・検査 (ちようさ・けんさ)

- 市のしごとがきちんと行われているかどうか、調査します。

※1：条例：市民に関係する大事なことは、市のきまりである (条例) で決められています。

4 市議会ではどんなことをするのかな (議会のしごと【主な権限】)

同意 (どうい)

- ・ 市長が副市長、教育委員、監査委員等を選ぶときは、議会の賛成 (同意) が必要です。

選挙 (せんきょ)

- ・ 議長 (※2) ・ 副議長 (※3)、選挙管理委員会委員等は選挙で選びます。

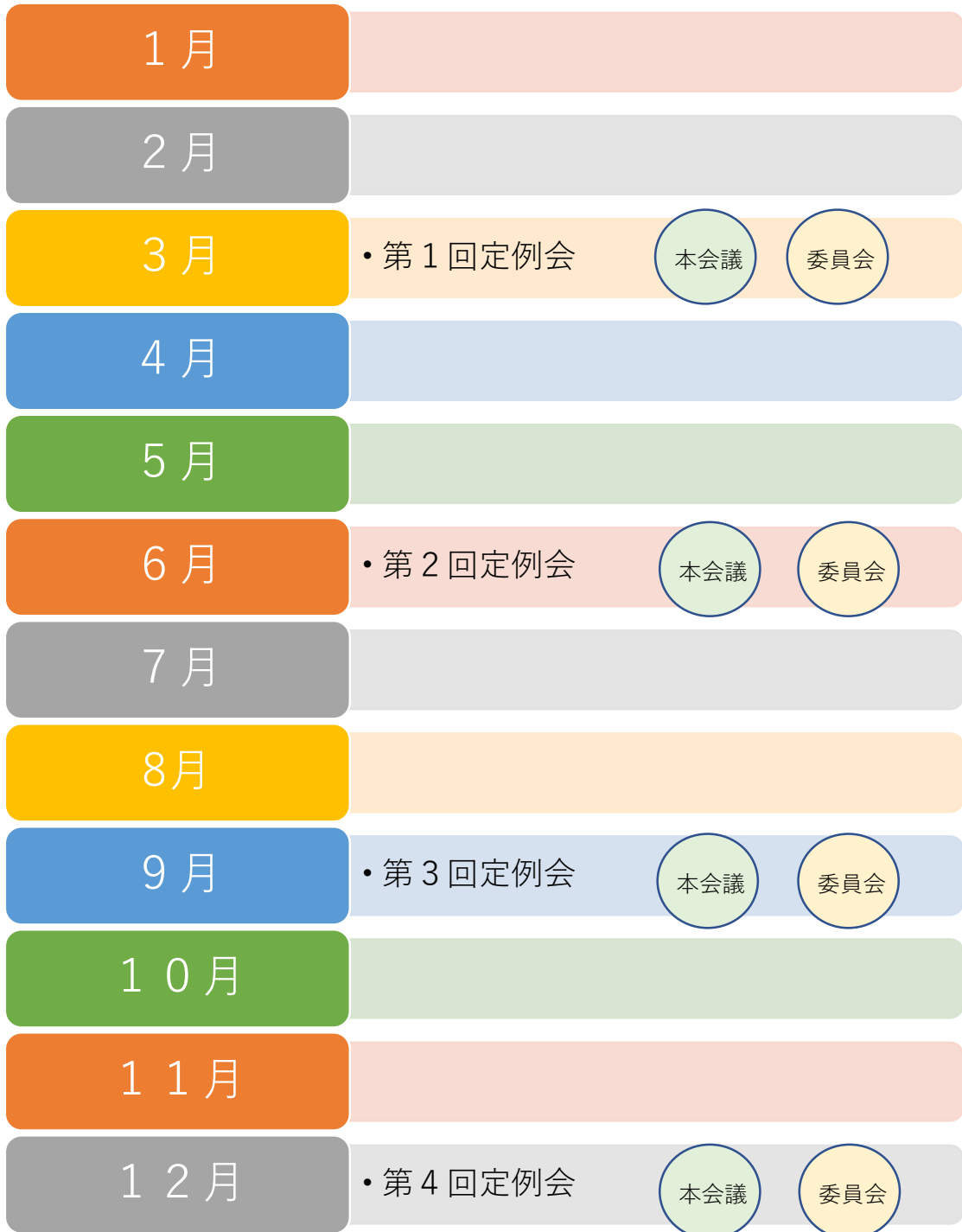


※2：議長：議会の代表者です。本会議の進行など、市議会での話し合いがスムーズに進むようにまとめます。

※3：副議長：議長のしごとを助けたり、議長がいないときに議長のかわりをします。

5 市議会の年間スケジュール（例）

熊谷市の市議会は、おおむね1年間に4回開かれます。1回の定例会では、3週間ほどかけて、いろいろなことを話し合い、決めていきます。



上記のほか、必要な時に開かれる臨時会があります。

6 定例会の流れ

定例会では、次のような順番で話し合いがすすめられます。

1 本会議

- 市長や市議会議員が市の決まりごとやお金の使い方を提案したり、その内容を説明します。
- 市民から、議会にお願いごと（請願）が提出されます。

議員全員で話し合います。

2 委員会

- 本会議に提案、提出された内容について、さらにくわしく調べたり、話し合ったり（審査）します。



3 本会議

- 議員から市の仕事の内容などを市長に聞く「一般質問」も行われます。
- 委員会での話し合いの内容をみんなに報告します。
- 賛成や反対の意見を言います。
- 賛成か反対か市議会の考えを決めます。【採決】

議員全員で話し合います。

💡ひとつの問題を、きめ細かく、専門的に検討し、できるだけよい答えが出せるように、「本会議」と「委員会」の2つの形式で話し合いをします。

7 本会議と委員会ってなんだろう??

本会議

- 議員全員があつまる会議です。
- 話し合いには、議員の半数以上の出席が必要です。
- 市長や議員が提出した議案（☆）などについて話し合い、市議会としての考えを決める会議です。
- 市議会の考えは、多数決で決めます。

委員会

- たくさんのしごとを種類ごとに分けて、少人数で詳しく調べたり話し合ったりします。

総務文教 常任委員会

- 市全体の計画、税金、消防、教育などに関する
ことを審査

環境産業 常任委員会

- 環境、ごみ、農業、商工業に関
することを審査

市民福祉 常任委員会

- 保育園や児童ク
ラブ、防犯、市民の健康、交通
安全、お年寄り・障がいのある
人の生活など
に関する
ことを
審査

都市建設 常任委員会

- 都市計画、道路
や川、公園のほか水道や下水道
などに関する
ことを
審査

- ほかにも・・・

◆議会運営委員会：議会の進め方やルールを決めます。

◆防災・災害対策特別委員会：
大規模災害に備えて防災・災害対策について調べたり話し合います。

◆子育て・少子化対策特別委員会：
少子化の原因を調べたり、子育て環境の向上について話し合います。

◆スポーツ・文化芸術振興特別委員会：
スポーツや文化芸術により盛り上げる方法を調べたり話し合います。

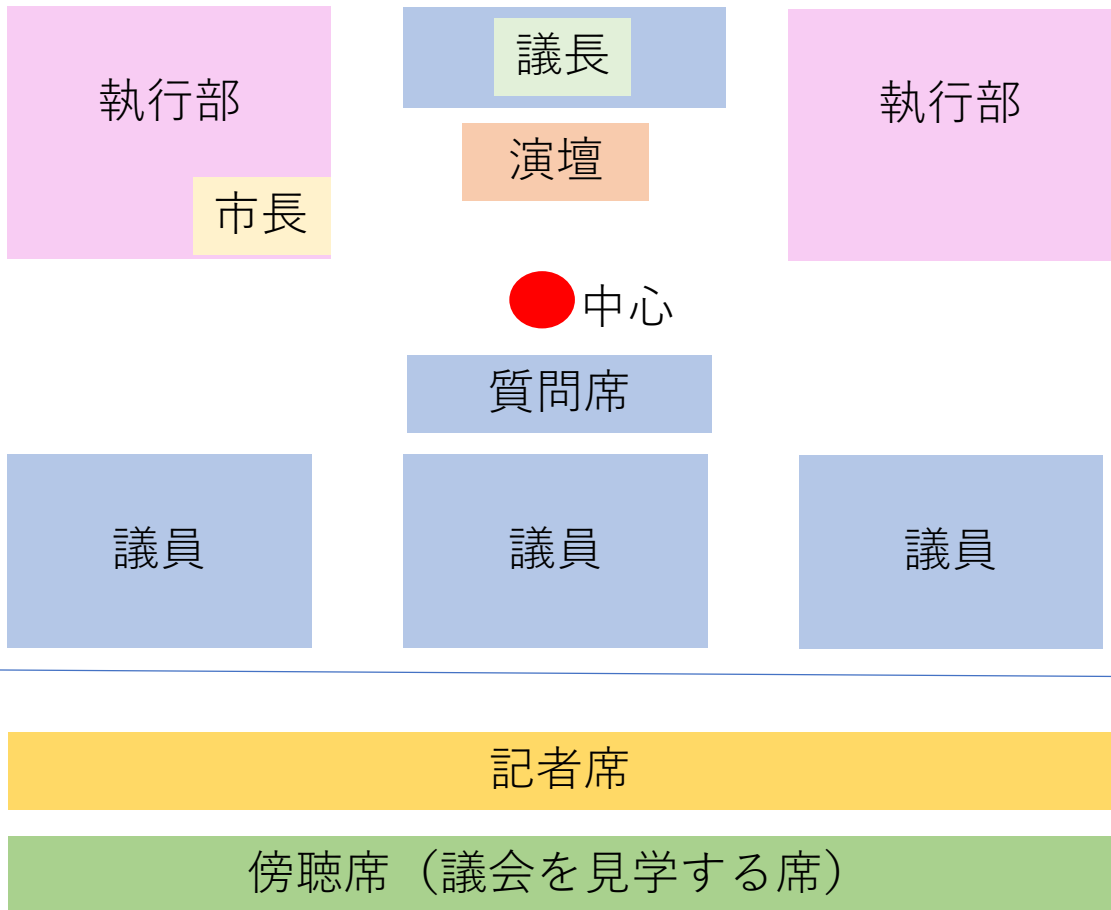


8 議場のなぞ

(1) 議場ってなにをするところ？

議場は、議員と市長をはじめ市の仕事をする職員が会議をする場所です。議会を見に来た人もあわせて、全部で100人以上が入れる大きな部屋です。

◆傍聴席（議会を見学する席）からみた議場の様子



💡 だれもが責任をもった発言がしやすいように、議員と執行部は中心に向かって、向かい合ってますわります。

8 議場のなぞ

(2) 議長席や演壇はなんのためにあるの？

💡議長席：議場の正面にあるのが、議長が座る議長席です。高い位置にあるので、全体を見渡すことができます。挙手をしている人が誰なのか見やすいので、会議の進行をスムーズに行うことができます。

💡演壇：議員は自分の席から、ここに出てきて質問や意見を言います。



議長席

演壇

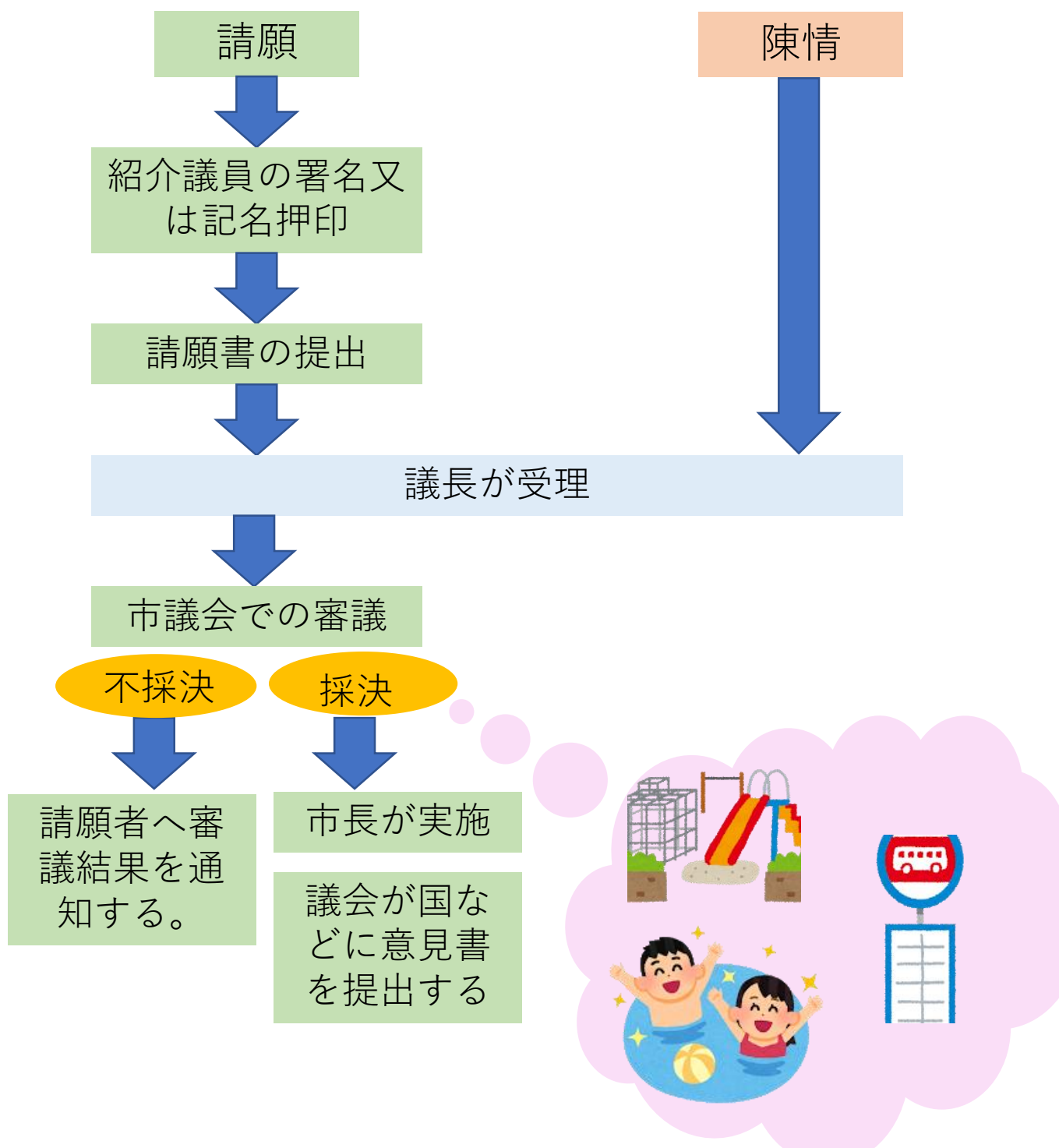


議長席から見た議場
➤高い位置にあるので全体が見渡せます。

9 みんなの願いを市議会に伝えたいときには どうしたらよいのかな？

たとえば、プールをつくってほしいな、公園にブランコがあれば良いな、ゆうゆうバスのバス停が近くになれば家族が喜ぶかな。

そういったお願いや意見を市議会へ伝える方法が、**請願**（せいがん）と**陳情**（ちんじょう）です。



10 市議会を実際にみてみたい

市議会では、実際にどんなことが話し合われているんだろう？気になるから実際に見てみたい。

① 傍聴（ぼうちょう）

本会議でどのようなことが話し合われているのか、直接見たり、聞いたりすることができます。



白熱（はくねつ）した
雰囲気（ふんいき）を
感じているよ

② インターネット中継

本会議のようすを市議会のホームページから自分のパソコンなどで、生放送もしくは録画を見ることができます。



③ くまがや市議会だより

自治会等をとおして、みなさんに配布しています。発行月は、2月、5月、8月、11月です。市議会のホームページでも見ることができます。どんな提案が採決されたのか、一般質問の内容などが記載されています。



④ 市議会のホームページ

議員の名簿や会議録などいろんな情報を掲載しています。

11 おわりに

ここまで、一緒に熊谷市議会を探検してくれて、ありがとう。

熊谷市には…

妻沼聖天山などの日本に誇る観光地もあります。

スポーツを観戦できるスタジアムもあります。

音楽を楽しめるホールもあります。

魅力的なお店もたくさんあります。

図書館も遊具がたくさんある公園もあります。

おいしいお米や野菜や果物が作られています。

このほかにも、たくさん自慢できるポイントがあります。

熊谷市議会では、みんなが誇れるまち、熊谷をつくるため、そして、みんなの住む熊谷市がお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、障がいのある方などすべての人にとって、住みやすいまちをつくるため、これからも毎日一生懸命取り組んでいきます。